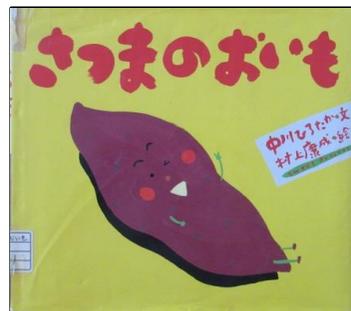




おすすめ絵本

食べ物の色と形のヒミツ

食べ物の色や形はさまざまです。そして、これらの色や形には、必ず意味があります。食事のときに、食べ物を見ながら話せば、より一層、子どもたちの興味を引くことができます。



『さつまのおいも』

中川ひろたか・文 村上康成・絵 童心社

おいもは土の中で暮らしています。ごはんだって食べるし歯もみがくのです。おいもたちのくらしぶりにクスッときたり、いもほり、やきいも…ときたらおいしいだけでは終わりませんよね？

最後のページは子どもたちも大笑い！！
ぜひ楽しんでください。

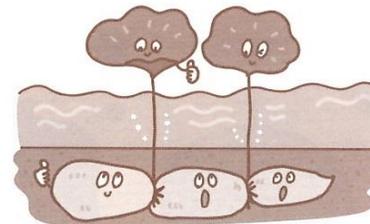
『でこちゃん』

つちだのぶこさく・え PHP研究所

お母さんに髪の毛を切ってもらったでこちゃん。「でこちゃんがでこちゃんになったよ」とみんなに笑われ幼稚園に行きたくありません。泣き出すでこちゃんにお姉ちゃんがしてくれたおまじないとは…？

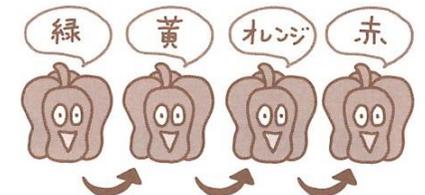


レンコンに穴があいているのは、
水中で息をするため！



レンコンは、水を張った田んぼの泥の中で育ちます。水中では根っこが息をしづらいため、水の上に出た葉から、レンコンの穴を通じて、根っこまで空気を届けています。

パプリカは育ちながら
色が変わっていく！



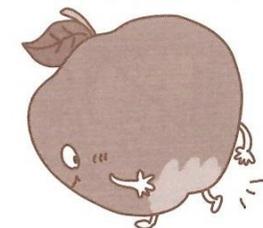
色が違うパプリカがありますが、それは収穫するタイミングが異なるため。収穫時期が早い順に、緑→黄→オレンジ→赤と色が変わり、含まれる栄養も変わっていきます。ピーマンも収穫しないでおくと赤くなり、栄養も豊富になります。

カブだけで、色や形が違う
ものが80種類以上もある！



カブは昔から日本で食べられており、種類がとても豊富です。大きさは大中小、色は白・赤・黄などに分類されています。ちなみに、カブはアブラナ科で、白菜やチンゲン菜・小松菜などと同じ仲間です。

リンゴは、おしりが
黄色いほうが甘い！



リンゴは熟すと緑色から黄色になります。リンゴが赤いのは、日が当たった部分に赤い色素が増えるから。熟し加減を確認するには、日があまり当たっていないおしりの部分の色を確認しましょう。

よくみているはずなのに、知らなかった！